

# ソーシャルワーク 現場実習

合同ワークショップ  
開催日：2024年3月2日



## 先住民族への謝辞

今日この会合が開催されているこの土地は、元々はエオラネーションのビジガルの人々が所有していたものであることを認識し、今に至るまでの土地、水、コミュニティとのつながりに思いを馳せたいと思います。先人たちの過去と現在に敬意を表します。



# 私たちのチーム：仕事を重視して学ぶ

現地での学習を通し、協働して学生を支援



## チーム

プログラムディレクター

コース主幹

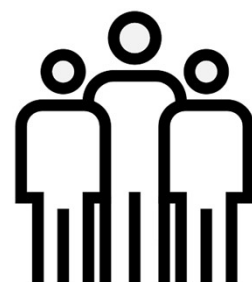
現場教育者

WIL ソーシャルワーク

リエゾン教員

WIL 事業

ESG 監督者



## 私たちの目標

- 有意義かつ安全で質の高い現場実習の経験を確保
- 学生中心の実習
- 長所を踏まえたアプローチ
- 解決を重視
- すべての関係者と協力するアプローチ
- 現場教育者と関係を構築
- ダイナミックかつ進歩指向
- 学生のフィードバックを得て、評価と質の向上を図る



# 実習の概要

## 学生は全員、ソーシャルワークの学位（優等）を取得（BSW）

- 多くの学生が複数学位を取得
- 4年のBSWで実習期間は2回に分けて
  - レベル3（3年目）：2月～6月
  - レベル4（4年目）：7月～11月
- \* 4年生は、国内、地方・遠隔地、大学が認めた海外実習のうち、いずれを完了するかについて選択できる。
- 実習期間全体で500時間＝実習は約70日間（実習セミナー時間を含む）
- 学生は、月曜日～木曜日は実習に参加し、金曜日には大学のクラスに出席
- 学生は、必須コース（理論と実践、およびマイクロ、メソ、マクロレベルでのソーシャルワークを含む）を完了している必要がある。



# 実習の手順



- 学生への説明会
- 学生と個別に実習前面会予約
- 受け入れ機関（担当者）からの関心事項を提示
- 学生と受け入れ機関をマッチング
- 受け入れ機関で学生を面接
- 実習の実施を確認
- リエゾン教員を割り当て
- 実習期間を通して支援を継続



# Thank You and Close

ありがとう